

報 告

第43回総会・第140回研修会に参加して

伊藤 友香

2017年3月17日。近畿病院図書室協議会(以下 KHLA)事例・研究報告会で私は4年振りに発表をする。昨年、この会で八尾市立病院の谷口裕美子氏が移転作業について発表された。その参考文献の中に、4年前に発表した拙著があった。物凄く嬉しかった。あんなものが誰かの役に立っている。では、その後を書いてみよう。移転時の記事はある。だがその後を書いたものは少ない。発表の理由は単純にして安直だ。発表時間は20分。今回は大幅にオーバーしてしまい迷惑をかけた。時間内に発表を終わらせること。これが一番の目標だ。

事例・研究報告会は毎年4人(組)の発表がある。私は最後だ。やはり前回時間オーバーしたのが要因か。でもこれで他の発表者に迷惑をかけることはなくなった。少し気が楽になった。

増田徹氏はKHLAの共同リポジトリ「KINTORE」の構築から公開までの経緯と会員へのアンケートの分析を発表されていた。KINTOREのロゴを皆さんご存知だろうか。知らない方は今すぐホームページをご覧ください。「近図雲」もそうだが、KHLA担当者が考えるネーミングとロゴのハイセンス度合いがとても好きだ。リポジトリへの参加は会員114機関中14機関だとか。当院も貢献したいが出せるものがない。なんとも面目ない。

岸田智江氏は、予算編成から選書・発注・受入・支払事務の一元化した管理を図書室担当者が行った事例を報告された。病院図書館では予

算という概念が難しい。毎年確実に値上がりする国外雑誌。しかもドル建・ユーロ建で為替相場に影響される。そこで過去3年間の購入実績の平均値上がり率を算出されたのだそうだ。図書購入の必要性について医師にアンケートも実施されている。その中でも厳密な閲覧数の把握は重要な指数だったようだ。「慣例的」に購入している図書や雑誌がないか、見つめなおす必要性を感じた。

田中浩章氏は業務の中でのさまざまな工夫を紹介された。公式マスコットのロッサくんは掲示物のあちこちに登場している=看護師や女性職員の心をゲット。ページ数の少ない薄い冊子体はボックスファイルを自作。その見出しには一工夫ある=利用の多い職員のココロをゲット。オンラインジャーナルの各サイトの利用マニュアルも作成=年配の医師のココロをゲット。病院図書館はスタッフのいない時間が長い。常に利用者の立場に立ったサービスが必須である。改めてその重要さに気付かされた。

最後は私である。詳細はここでは省略させていただきます。目標であった「時間内に発表を終わらせること」は達成できなかった。あれもこれも詰め込んだのが原因だ。テーマを絞り目標達成のためにいつかりベンジをしよう。

さて、午後は総会記念講演から始まる。山田久夫氏による「医学部と医学教育の現況」だ。日本の医学生生活スタイルはガラパゴス化しているらしい。そういえば当院にも入職早々「腰パン」のあだ名がついた研修医がいた。あの人には診察されたくない職員は口を揃えて発

言していた。せっかく医師になっても腕が良くても腰パンはいただけない。学生の時に山田先生に出会っていたら腰パン先生は今頃どんな医師になっていたか。“医学生は「普通の人間」であるべきか”“医学生の勉学に呼応した健康アドバイス”のスライドは興味深く、山田先生の教育者としての優しさがあふれていた。

総会はこの日の締めくくりで開催される。出席 25 機関、委任状 70 機関のため総会成立の要件を満たし議事が始まった。ここで私はあえて苦言を呈したい。会員のみなさん、総会には参加しましょう。勤務や遠方などの理由があるのはわかる。が、病院図書館担当者はレアキャラとあっていい存在だ。絶滅危惧種に匹敵するかもしれない。そんな仲間たちが協力し合って成り立つ団体だ。特に 2016 年度は衝撃的なニュースがあった。KITOcat が 2017 年度末を以ってサービスを終了するというものだ。会員のみなさんの中で KITOcat にお世話になっていない人はいないのでは？今後どうなっていくか不安になったのでは？自分の仕事に直結していることなのに人にお任せでは、ちょっと寂しいとは思いませんか？KHLA には総会参加助成金制度がある。総会に参加されたことのない方、来年はぜひ顔を出してみたいかがだろうか。相互貸借でお世話になっている担当者にお会いできる貴重な時間でもある。こんなチャンスを逃すなんてもったいないと個人的には思う。

ところで、ここ数年、私は毎年 3 月に必ず京都へ行く。KHLA の総会・研修会に参加するからだ。そして必ずどこかしらに観光へ行く。昨年は宇治に行った。今年の行先は二年前から決めていた。奈良の明日香村だ。せっかくならば一日中古墳にまみれていたい。研修会の前日である 3 月 16 日午前 10 時。私は念願の明日香村に降り立った。レンタサイクルで村中を駆け回った。キトラ古墳、石舞台古墳、高松塚古墳、丸山古墳。天武天皇・持統天皇陵、文武天皇陵。飛鳥坐神社。橘寺、飛鳥寺。飛鳥水落遺跡、石神遺跡、飛鳥の石造物たち。奈良県立万葉文化館、奈良文化財研究所飛鳥資料館、高松塚壁画館。6 時間半の滞在でこれだけ見られたのは私の執念だ。だが全てを網羅できていない。欲を言えばキトラ古墳だけで半日を費やしたいほどである。だが 2 年連続で同じ地に行くのは何かが違う。数年後、じっくり時間を作って飛鳥時代のロマンに浸ろう。では、来年はどこに行くか。そうだ、天橋立はどうだろう。そういえば、日本海側の京都にはまだ足を踏み入れたことがない。でも地図で見ると思った以上に遠い。お、京都駅から高速バスが出ているのか。ふむふむ、頑張れば行けそう。というわけで、来年の 3 月、私は天橋立にいる。その翌日、研修会にお邪魔していることだろう。そして今年以上にたくさんの皆さんにお会いできることを、今から楽しみにしているのである。